

取扱説明書

DLP®プロジェクター

LP-GU4001J

(形名：LP-GU4001)

【基本編】

この基本編では、基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。



警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ



はじめに…………… 1 - 2

正しくお使いいただくために

《必ずお読みください》…………… 1 - 2

使用上のご注意…………… 1 - 3

付属品の確認…………… 1 - 9

各部の名称…………… 1 - 10

準備・設置…………… 1 - 14

準備する…………… 1 - 14

設置する…………… 1 - 14

他の機器と接続する…………… 1 - 17

ケーブルを固定する…………… 1 - 22

キャップの取り付け…………… 1 - 23

アダプターカバーを取り付ける…………… 1 - 23

セキュリティ・スロット/バーを使う…………… 1 - 24

電源に接続する…………… 1 - 25

ターミナルカバーを取り付ける…………… 1 - 26

リモコンを準備する…………… 1 - 27

リモコン信号の周波数を切り替える…………… 1 - 28

リモコン信号について…………… 1 - 28

簡易マウス/キーボードとして使う…………… 1 - 29

基本操作…………… 1 - 30

電源を入れる…………… 1 - 30

電源を切る…………… 1 - 31

音量を調節する…………… 1 - 32

音声を消す…………… 1 - 32

入力信号を選ぶ…………… 1 - 32

アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ…………… 1 - 33

傾きを調節する…………… 1 - 34

ズーム（表示倍率）と

フォーカス（焦点）を調節する…………… 1 - 34

レンズシフトを調節する…………… 1 - 35

画面の自動調整機能を使う…………… 1 - 36

画面のひずみを補正する…………… 1 - 37

エッジブレンディング機能を使用する…………… 1 - 39

画面を拡大する…………… 1 - 41

映像を静止させる…………… 1 - 41

映像を一時的に消す（ブランク）…………… 1 - 42

点検とお手入れ…………… 1 - 43

吸気口を掃除する…………… 1 - 43

内蔵時計用電池の取付…………… 1 - 44

その他のお手入れ…………… 1 - 45

仕様…………… 1 - 46

一般仕様…………… 1 - 46

外形寸法…………… 1 - 47

はじめに

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

■絵表示の意味



「注意」を示します。
この記号の後に続けて「気をつけなければ
ならない」ことを記載しています。



「破裂注意」



「感電注意」



「高温注意」



「禁止」を示します。
この記号の後に続けて「してはいけない」
ことを記載しています。



「分解禁止」



「水ぬれ禁止」



「ぬれ手禁止」



「レンズをのぞかない」



「投写光をさえぎらない」



「強制」を示します。
この記号の後に続けて「必ず行わなければ
ならない」ことを記載しています。



「電源プラグをコンセントから抜け」



「アース線を必ず接続せよ」

お守りください

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

■使用上のご注意


警告
異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

- ▶ 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
- ▶ 内部に異物や液体（金属や水など）が入った。
- ▶ 落とした、強い衝撃をあたえた。
- ▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

子どもやペットに注意する

誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。また、電池やその他の小さな部品は、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに設置、保管してください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

異物や液体を入れない

火災や感電の原因となります。また可燃性の気体や液体が内部に入ると、引火して爆発を引き起こし、火災やけがの原因となります。

ぬれたものや小さなもの、気体や液体が入っているものを本機の近くに置かないでください。洗剤や殺虫剤などのスプレー（エアゾール製品）を本機に向けて、または本機の周辺で使用しないでください。

万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

**ぬらさない**

水ぬれ禁止

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。

水をかけたり、風呂場やシャワー室など水や雨、水滴のかかる場所に置いたりしないでください。

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない、衝撃をあたえない

ぶつかけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となります。また、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- ▶ 移動するときは、コード、ケーブルを外してください。
- ▶ 設置器具は、本書の指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。

**油を使用する場所に置かない**

油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。また、プラスチックの劣化により、天井や高所設置からの落下など、けがの原因となります。

- ▶ 調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。
- ▶ ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤などを使用しないでください。

**分解しない、改造しない**

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

- ▶ 本機の本体や付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。
- ▶ 内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。



分解禁止

(次ページにつづく)

警告

高温に注意する



本機の使用時、排気口や排気口から出る空気は高温になります。また、別売品の USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があります。周辺に可燃物やスプレー等があると引火や破裂を引き起こし、火災やけがの原因となります。また高温部に触れたり近づいたりするとやけどの原因となることがあります。

- ▶本機の上や周辺に、可燃物やスプレー、熱の伝わり易いものや熱に弱いものを置かないでください。
- ▶使用中や使用後しばらく、排気口に触れたり近づいたりしないでください。
- ▶別売品の USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、やけど防止のため、アダプターカバーを必ず取り付けてください。

レンズをのぞかない



本機の使用時は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

本機の点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する



本機が点灯中に映像を消したい場合には、ブランク機能を使用してください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、高温となったり、レンズの損傷、発煙、発火の原因となることがあります。

電源コード、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する



仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。本機に付属されているものは、傷や破損が無いことをご確認のうえ、必ず付属品をご使用ください。付属品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

電源プラグは付着物をふき取って使用する



本機の AC (電源端子) や電源コードのプラグ (刃) 部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、指定 (本体に表示) の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する



電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。また、指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。必ず、**交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。**
▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
▶たこ足配線はしないでください。

アース線を必ず接続する



アース線を必ず接続せよ

アース線、接地端子を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。また、アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。アース線は、本書の「電源に接続する」(1-25) に従って、正しく接続してください。

電源コード、信号ケーブルやコネクタを傷つけない



損傷のある電源コードや信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ぬれた手で電源コードを取り扱わない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

お手入れするときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセント
から抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
必ず本書の「点検とお手入れ」(☞1-43 ~ 45)をお読みになり、正しくお手入れしてください。

電池の取扱いに注意する



破裂注意

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。
漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶ 交換するときは指定のタイプ (☞1-27, 44) の新しい(未使用)電池を使用してください。
- ▶ 火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶ 子どもやペットの手足が届かないところに保管してください。
- ▶ 廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従ってください。

重い物を載せたりぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

- ▶ 本書に指定のある場合や所定の別売品(販売店にお尋ねください)以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

(次ページにつづく)

注意

高温になるところに置かない、通風孔をふさがない

高温になるところに置いたり、通風が正常に行われないと、内部温度が上がり過ぎ、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また、熱や温風を当てると本体などが傷む原因となることがあります。



- ▶本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から離して設置してください。
- ▶熱源の近くや直射日光、温風が当たる場所には置かないでください。
- ▶本機や付属品を電子レンジに入れないでください。
- ▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- ▶布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。

湿気、ほこりの多いところ、煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。



- ▶本機や付属品を、屋外に置かないでください。

磁気を発生するものを近づけない

本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。



- ▶付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く



本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

電源プラグを
コンセント
から抜け

落雷のおそれがあるときは使用しない



落雷があった時に本機を使用していると、火災や感電の原因となることがあります。落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください

USB ワイヤレスアダプターは、所定のものを使用する



USB ワイヤレスアダプターは、型名 (□□ 1-23) を販売店に指定してご購入ください。

LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する



ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。

- ▶公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。

(次ページにつづく)

注意

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

付属の CD-ROM は、コンピュータの CD/DVD ドライブで使用する



付属の CD-ROM を CD プレーヤなどで再生すると、突然大きな音が出て、聴力障害やご使用のスピーカの破損の原因となることがあります。

必ずコンピュータの CD/DVD ドライブで使用してください。

CD-ROM の取り扱いに注意する



付属の CD-ROM は、ケースに入れて大切に保管してください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

お守りください

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。

ときどき画面から離れて目を休めてください。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。

▶ お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）などを使ってください。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

リモコンに衝撃をあたえないでください、破損や故障の原因となることがあります。

▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。

▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください、故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

▶ 水をかけたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

▶ リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

本体やリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法 (☞ 1-45) で行ってください。

▶ 揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤、およびスプレーなどは使用しないでください。

▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。

▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

(次ページにつづく)

お知らせ

●本機の特性について

本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面がゆがんだり、フォーカスが変動することがあります。本機が点灯してから性能が安定するまでの約30分程度は、特に変化が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調節を行ってください。

●寿命部品について

光源、光学ユニット (DLP[®] チップ等を含む)、冷却ファンは寿命部品です。DLP[®] チップを交換する場合は、光学ユニットの交換となります。

●映像特性について

本機は DLP[®] チップを使用した投写装置です。投写面 (スクリーンや壁面など) の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやコンピュータのモニターとは異なることがあります。故障ではありません。

●DLP[®]チップの焼きつきについて

本機は DLP[®]チップを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、DLP[®]チップの仕様 (図1-46) と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、DLP[®]チップが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、DLP[®]チップ特有の現象であり、故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機は DLP[®]チップを使用した投写装置です。画面上に輝点 (光ったままの点) や黒点 (光らない点) が見られることがありますが、DLP[®]チップ特有の現象であり、故障ではありません。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効にしてください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

●不要輻射について

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

●DLP[®]チップについて

DLP[®]チップは、精密部品です。まれに、ピクセルが点灯しない、または点灯したままの場合がありますが、故障ではありません。レンズに直接高出力レーザーを当てますと、DLP[®]チップが故障することがあります。

●この製品 (付属品を含む) は

日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。

This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

●電源高調波について

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。



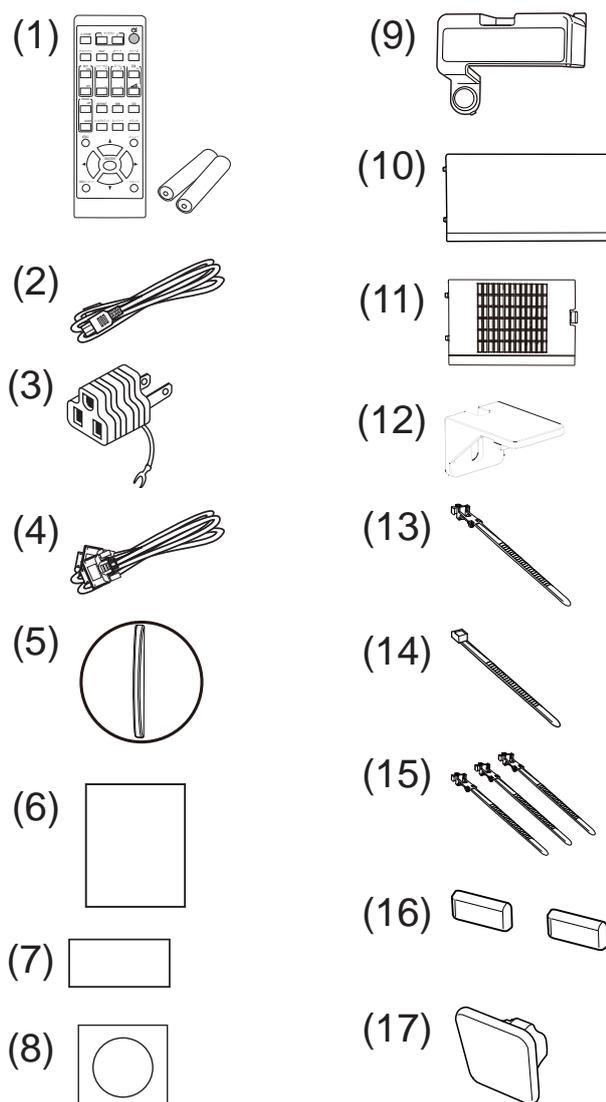
明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。

RG2 IEC 62471-5:2015.

付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

- (1) リモコンと単 3 型乾電池× 2 個
- (2) 電源コード
- (3) 電源アダプター
- (4) コンピュータケーブル
- (5) レンズカバー
- (6) 取扱説明書（本書 1 冊）
- (7) セキュリティラベル
- (8) アプリケーション CD
- (9) アダプターカバー
- (10) ターミナルカバー A
- (11) ターミナルカバー B
- (12) HDMI ケーブルホルダー× 1 個
- (13) 結束バンド - 大× 1
- (14) 結束バンド - 中× 1
- (15) 結束バンド - 小 (x3)
- (16) HDMI キャップ (x2)
- (17) HDBaseT キャップ (x1)



警告



●電池の取扱いに注意する

子どもやペットが届くところに放置しないでください。



●電源コード

本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

お知らせ

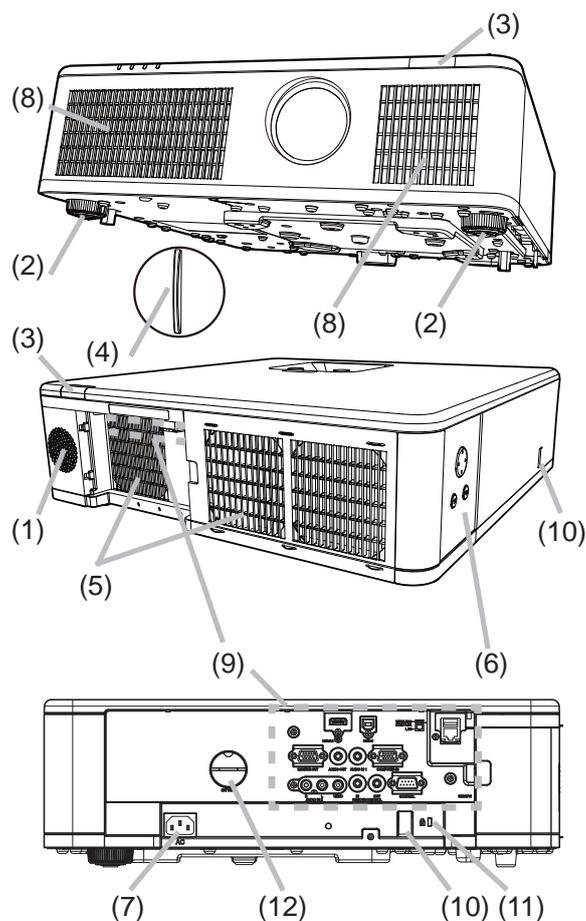
●梱包材は大切に保管してください。

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

各部の名称

プロジェクター（本機）

- (1) スピーカー
ここから音声が出ます。
- (2) アジャスタ脚 (☞1-34)
本機の傾きを調節します。左右に一本ずつ、計二本あります。
- (3) リモコン受光部 (☞1-28)
リモコンからの信号を受け取ります。
- (4) レンズカバー
レンズ穴を保護するため、本機の保管時または移動時に取り付けます。
- (5) 吸気口 (☞1-43)
本機内に空気を取り込む入り口です。物や手などでふさがないでください。
- (6) 操作パネル (☞1-11)
本機を操作するためのボタンです。
- (7) AC（電源端子） (☞1-25)
電源コードを接続します。
- (8) 排気口
本機内部の排熱口です。
- (9) 入出力端子 (☞1-12)
コンピュータやDVD / ビデオプレーヤなどと接続します。
- (10) セキュリティ・バー (☞1-24)
- (11) セキュリティ・スロット (☞1-24)
ケンジントンロックなどの盗難防止用ロックや、盗難防止用ワイヤー／チェーンを取り付けます。
- (12) 内蔵時計用電池カバー (☞1-44)
中に内蔵時計用電池が入ります。



(次ページにつづく)

警告



●本機を開けない

本機の本体や付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。



●不安定な場所に置かない



●衝撃をあたえない

移動するときは、コード、ケーブルを外して運んでください。



●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、触れたりしないでください。

注意

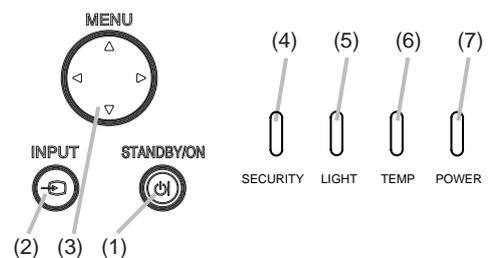


●レンズに物を貼ったり、前に物を置いたりしない

レンズには、レンズカバー以外のものを取り付けしないでください。

インジケータ、操作パネル

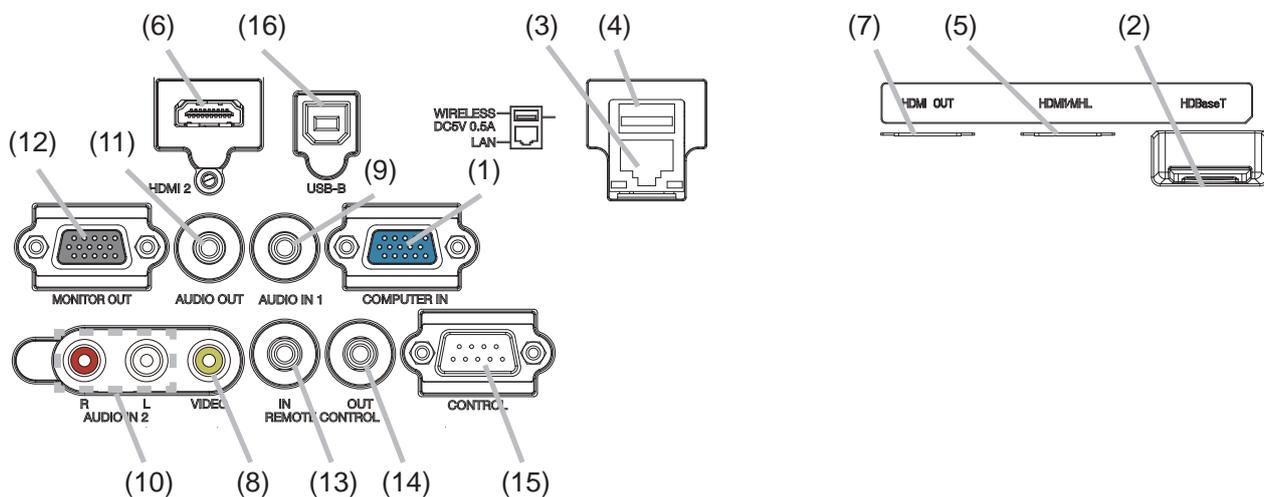
- (1) **STANDBY/ON ボタン** (図1-30, 31)
点灯／消灯（スタンバイ）を切り替えます。
- (2) **INPUT ボタン** (図1-32)
映像信号を切り替えます。
- (3) **MENU ボタン** (図2-3)
(カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶)
メニュー画面を表示します。(メニューを操作します。)
- (4) **SECURITY インジケータ** (図4-44)
セキュリティ機能の設定状態についてお知らせします。
- (5) **LIGHT インジケータ** (図4-42, 43, 44)
本機の光源の状態についてお知らせします。
- (6) **TEMP インジケータ** (図4-42, 43, 44)
本機内部の温度状態についてお知らせします。
- (7) **POWER インジケータ** (図4-41 ~ 44)
電源の状態をお知らせします。



各部の名称 (つづき)

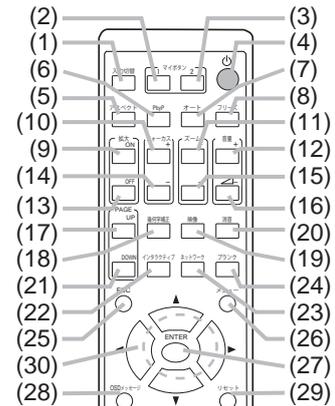
入出力端子

- (1) **COMPUTER IN 端子**
コンピュータからの映像信号の入力端子です。
- (2) **HDBaseT 端子**
HDBaseT の入力端子です。
- (3) **LAN 端子**
有線 LAN の接続端子です。
- (4) **WIRELESS 端子**
USB ワイヤレスアダプターの接続端子です。
- (5) **HDMI 1 / MHL 端子**
- (6) **HDMI 2 端子**
HDMI[®] 映像 / 音声信号の入力端子です。
- (7) **HDMI OUT 端子**
HDMI[®] 映像 / 音声信号の出力端子です。
- (8) **VIDEO 端子**
DVD、Blu-Ray™ プレーヤなどの映像機器からの映像信号の入力端子です。
- (9) **AUDIO IN1 端子**
- (10) **AUDIO IN2 (L, R) 端子**
音声信号の入力端子です。
- (11) **AUDIO OUT 端子**
音声信号の出力端子です。
- (12) **MONITOR OUT 端子**
コンピュータからの映像信号の出力端子です。
- (13) **REMOTE CONTROL IN 端子**
別売のリモコンを使って、有線接続する端子です。
- (14) **REMOTE CONTROL OUT 端子**
他のプロジェクターを、本機を介してリモコンに有線接続する端子です。
- (15) **CONTROL 端子**
コマンドの送受信端子です。
- (16) **USB-B 端子**
USB TYPE B の接続端子です。

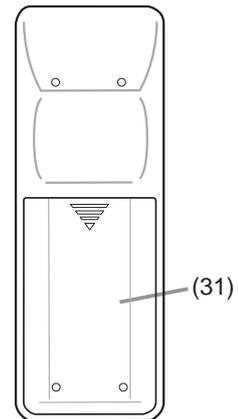


リモコン

- (1) 入力切替ボタン (1-32)
- (2) マイボタン 1 ボタン (2-27)
- (3) マイボタン 2 ボタン (2-27)
- (4) STANDBY / ON ボタン (1-30)
- (5) アスペクト ボタン (1-33)
- (6) PbyP ボタン (2-46)
- (7) オート ボタン (1-36)
- (8) フリーズ ボタン (1-41)
- (9) 拡大 ON ボタン (1-41)
- (10) フォーカス+ ボタン*
- (11) ズーム+ ボタン*
- (12) 音量+ ボタン (1-32)
- (13) 拡大 OFF ボタン (1-41)
- (14) フォーカス- ボタン*
- (15) ズーム- ボタン*
- (16) 音量- ボタン (1-32)
- (17) PAGE UP ボタン
- (18) 幾何学補正 ボタン (1-37)
- (19) 映像 ボタン
- (20) 消音 ボタン (1-32)
- (21) PAGE DOWN ボタン
- (22) インタラクティブ ボタン*
- (23) ネットワークボタン
- (24) ブランク ボタン (1-42)
- (25) ESC ボタン
- (26) メニュー ボタン
- (27) ENTER ボタン
- (28) OSD メッセージ ボタン (2-19)
- (29) リセット ボタン
- (30) ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン
- (31) 電池カバー (1-27)



前面



背面

お知らせ

- “*” の付いたボタンは、使用できません。押すとメッセージ (4-39) が表示されます。
- OSD メッセージが禁止に設定されている場合、動作しないキーがあります。

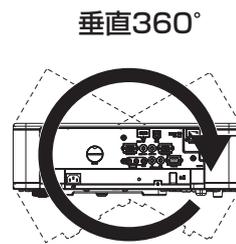
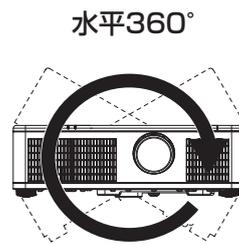
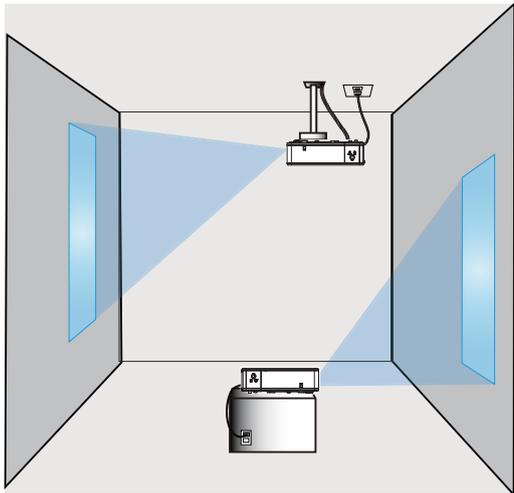
準備・設置

準備する

ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。本機とスクリーンの距離については各表（[表 1-16](#)）をご参照ください。表の数値はフルスクリーンの場合の参考値（±10%）です。

下図のように、本機はどの方向に向けても投写することができます。

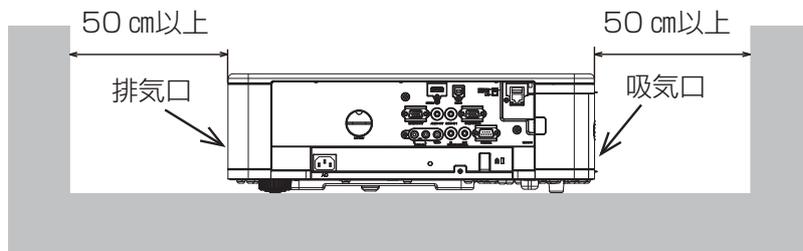
天吊り（天井設置）などの固定設置や特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。



設置する

排気口と壁の間には 50 cm 以上、吸気口と壁の間には 50 cm 以上のスペースを確保してください。

下図において、プロジェクターの両側、および上方には十分な空間があるものとします。



(次ページにつづく)

警告



- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
 - ▶本書の指定品の設置器具を使用すると、任意の方向に設置することができます。このような特殊な設置については、必ず事前に販売店にご相談ください。
 - ▶移動するときは、コード、ケーブルを外してください。
 - ▶設置器具は、本書の指定品をご使用ください。天井吊り（天井設置）などの固定設置や特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
 - ▶設置器具は、本書の指定品をご使用ください。



- 高温に注意する
熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。



- 油を使用する場所に置かない
 - ▶調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。
 - ▶ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤などを使用しないでください。



水ぬれ禁止

- ぬらさない
 - ▶水や雨のかかる場所に置いたりしないでください。

注意



- 高温になるところに置かない、通風孔をふさがない
 - ▶本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から離して設置してください。
 - ▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。



- 磁気を発生するものを近づけない
 - ▶磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。



- 湿気、ほこりの多いところ、煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない
 - ▶超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

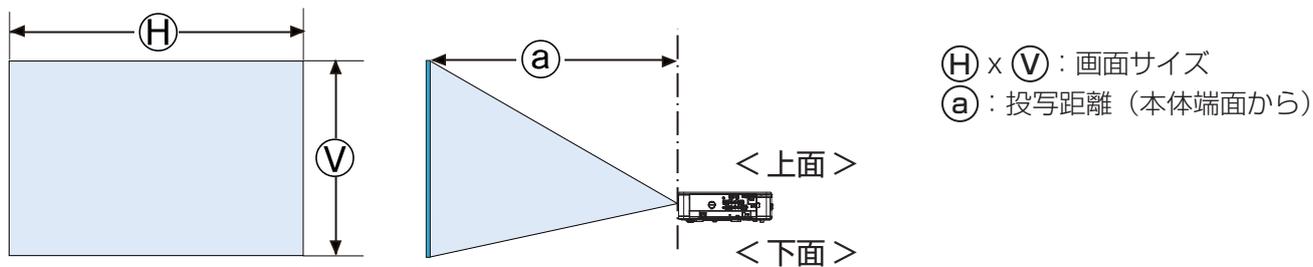
お守りください

- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください
リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。
- 電波を発生するものを避けてください
本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。
- 「その他」メニューの「特別な設定」-「高地モード」(P.2-31)が正しく設定されているか、ご確認ください。通常、オートのままにすることをお勧めします。誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

お知らせ

- プロジェクター内部の温度が上昇した際、冷却の為、ファンが一時的に高回転になる場合があります。

設置する (つづき)



お知らせ

●設置姿勢や、温度、高度などの使用環境により、明るさが変わることがあります。

型 (インチ)	16 : 10 画面				16 : 9 画面				4 : 3 画面			
	(H) (m)	(V) (m)	(a)		(H) (m)	(V) (m)	(a)		(H) (m)	(V) (m)	(a)	
			最小 (m)	最大 (m)			最小 (m)	最大 (m)			最小 (m)	最大 (m)
30	0.6	0.4	0.8	1.5	0.7	0.4	0.9	1.5	0.6	0.5	1.0	1.7
40	0.9	0.5	1.1	2.0	0.9	0.5	1.2	2.0	0.8	0.6	1.3	2.2
50	1.1	0.7	1.4	2.5	1.1	0.6	1.5	2.6	1.0	0.8	1.6	2.8
60	1.3	0.8	1.7	3.0	1.3	0.7	1.8	3.1	1.2	0.9	2.0	3.4
70	1.5	0.9	2.0	3.5	1.5	0.9	2.1	3.6	1.4	1.1	2.3	4.0
80	1.7	1.1	2.3	4.0	1.8	1.0	2.4	4.1	1.6	1.2	2.6	4.5
90	1.9	1.2	2.6	4.5	2.0	1.1	2.7	4.6	1.8	1.4	3.0	5.1
100	2.2	1.3	2.9	5.0	2.2	1.2	3.0	5.2	2.0	1.5	3.3	5.7
120	2.6	1.6	3.5	6.0	2.7	1.5	3.6	6.2	2.4	1.8	4.0	6.8
150	3.2	2.0	4.4	7.6	3.3	1.9	4.5	7.8	3.0	2.3	5.0	8.6
200	4.3	2.7	5.9	10.1	4.4	2.5	6.0	10.4	4.1	3.0	6.7	11.4
250	5.4	3.4	7.4	12.6	5.5	3.1	7.6	13.0	5.1	3.8	8.3	14.3
300	6.5	4.0	8.8	15.2	6.6	3.7	9.1	15.6	6.1	4.6	10.0	17.2

(1920 × 1200, ± 10%)

(次ページにつづく)

他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプターが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプターを準備してください。本機の端子形状は【技術情報編】「入出力信号端子」(P4-5～8)をご覧ください。

本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下に続くページをご参考に接続してください。

警告



分解禁止

●信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

本機に付属されているものは必ず付属品をご使用ください。付属品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ、適切なものをご使用ください。



分解禁止

●分解しない、改造しない

本機や付属品を加工しないでください。



●信号ケーブルやコネクタを傷つけない

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の排気口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

注意



●コア付きのケーブルを使用する場合

コア付きのケーブルを使用する場合は、コアの付いている側のプラグを本機の接続端子に接続してください。

お守りください

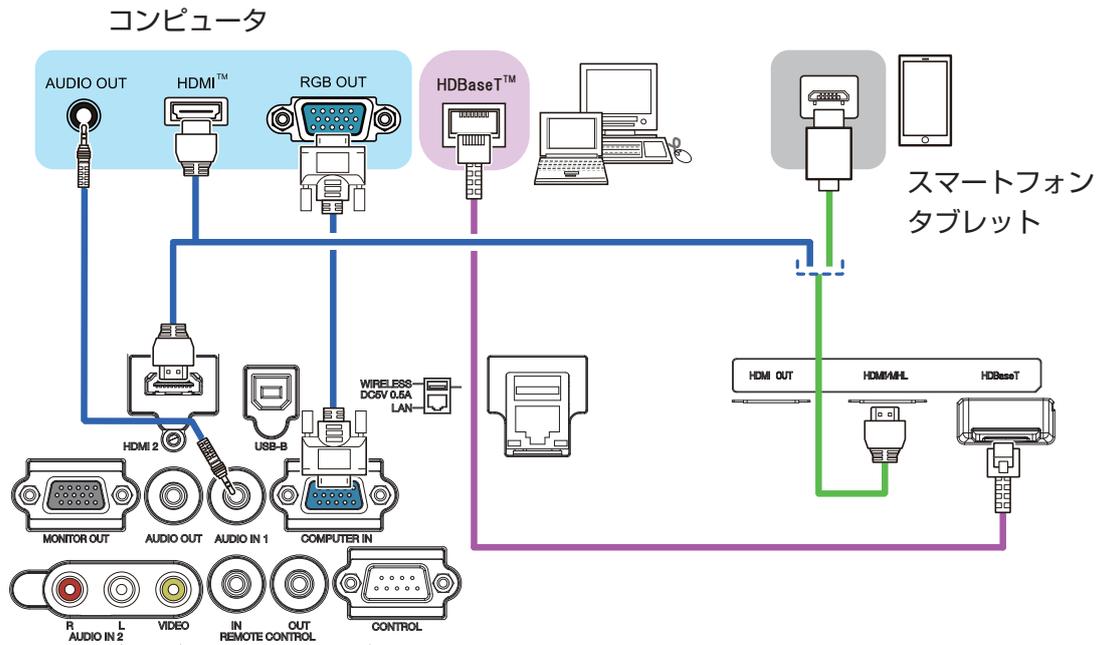
- 接続している他の機器（コンピュータやビデオプレーヤなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、接続している他の機器の電源が切れている状態で行ってください。
- 接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。
正しく接続されていないと本機や接続される機器の故障の原因になります。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- 本機の各接続端子は凹んでいるため、ストレート型プラグのケーブルを使用してください。L型のケーブルは使用しないでください。

お知らせ

- 本機をプラグ & プレイモニター（VESA DDC 2B 対応）として使用するには、**COMPUTER IN** 端子を、VESA DDC（Display Data Channel）対応のコンピュータに接続してください。
このとき、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。コンピュータによってはプラグ & プレイが動作しない場合があります。
- この製品はクラス A 情報技術装置です。本製品の極近傍に信号、通信ケーブル（例えば LAN ケーブル）を配線すると、電波障害を発生させる恐れがあり、その際は、この製品をご利用の方が、適切な対策手段を講ずることが、必要になる場合があります。

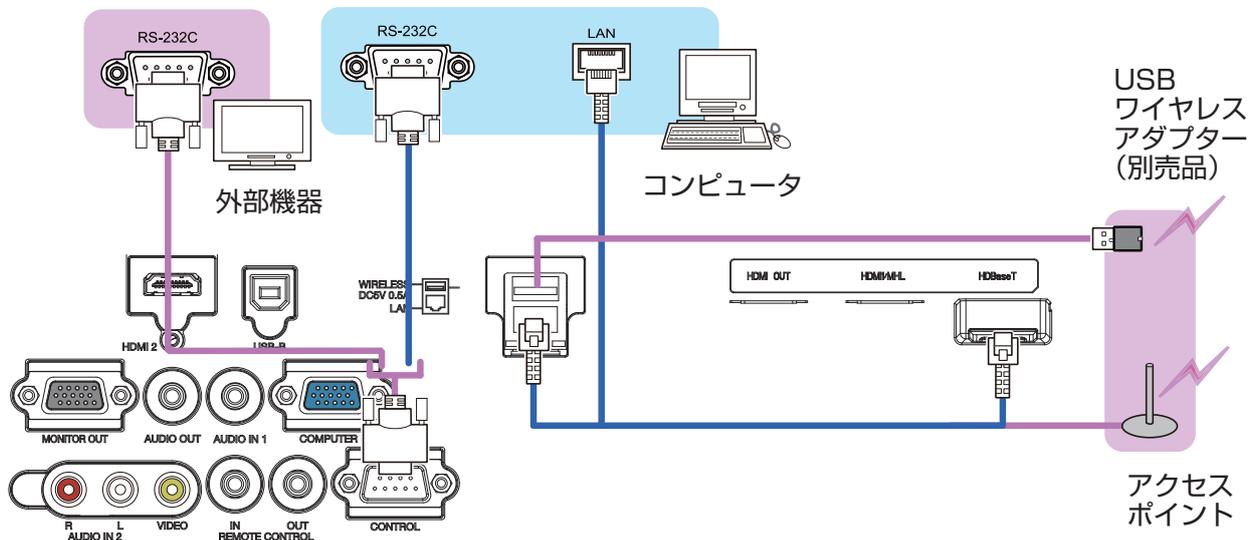
(次ページにつづく)

他の機器と接続する (つづき)



お知らせ

- 接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。
- 信号によっては、特定のアダプターが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。
- 複数の表示モードを持つコンピュータでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。
- 本機は W-UXGA(1920 × 1200)信号まで表示できますが、信号処理の過程で本機の DLP の解像度(4-2)に変換しています。映像品質は入力信号と本機の DLP の解像度が同じときに最良となります。
- ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効 (LCD と CRT の同時表示または CRT の設定) にして使用してください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。
- 入力信号によっては、自動調整機能が正しく働かなかったり、映像を表示できなかったりすることがあります。
- コンピュータの表示モードや、信号の種類 (信号方式、解像度、周波数など) によっては、映像を表示できないことがあります。
- コンピュータの画面上で解像度を切り替えるとき、通常より時間がかかったりすると、解像度切替えの画面表示が確認できず、元の解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。



警告



高温注意

●高温に注意する

USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があります。触れるとやけどの原因となることがあります。USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、やけど防止のため、アダプターに触れる 10 分前に電源コードを切ってください。

●USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、同梱のアダプターカバーもしくは、ターミナルカバーをご使用ください。

注意



●LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する

ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。

●USB ワイヤレスアダプターは、所定のものを使用する

USB ワイヤレスアダプターは、型名 (☐1-23) を販売店に指定してご購入ください。

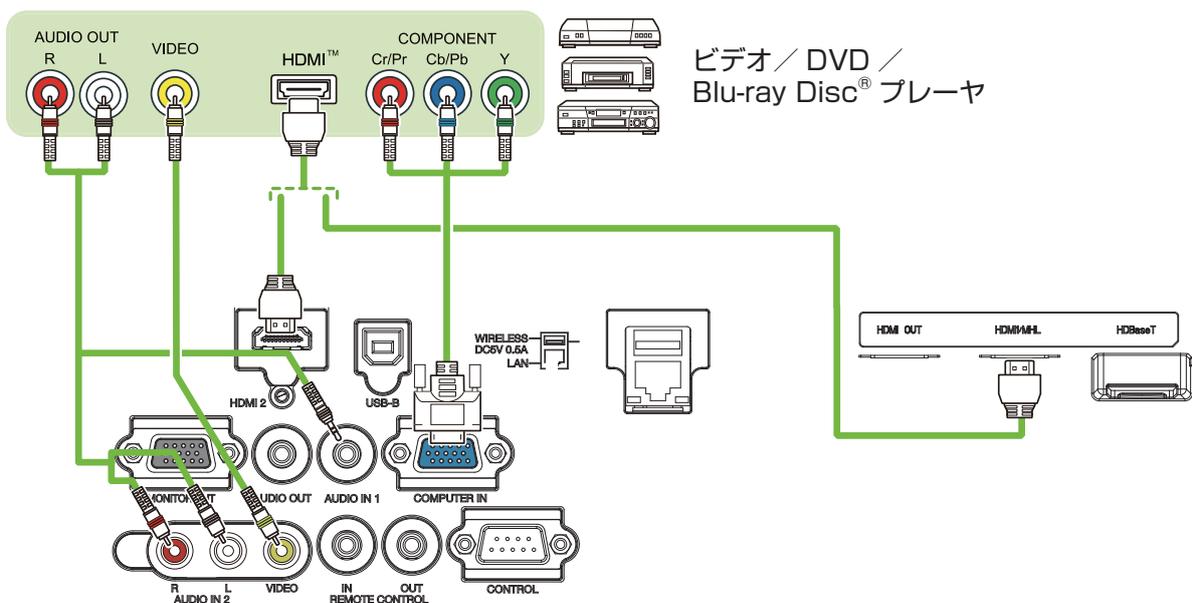
接続する前に、本機の電源をオフにしてから行ってください。

USB ワイヤレスアダプターご使用の際は、延長ケーブルでの接続はしないでください。

LAN ケーブルと USB ワイヤレスアダプター両方使用する場合は、芯線が見える側が平らな LAN ケーブルをご使用ください。

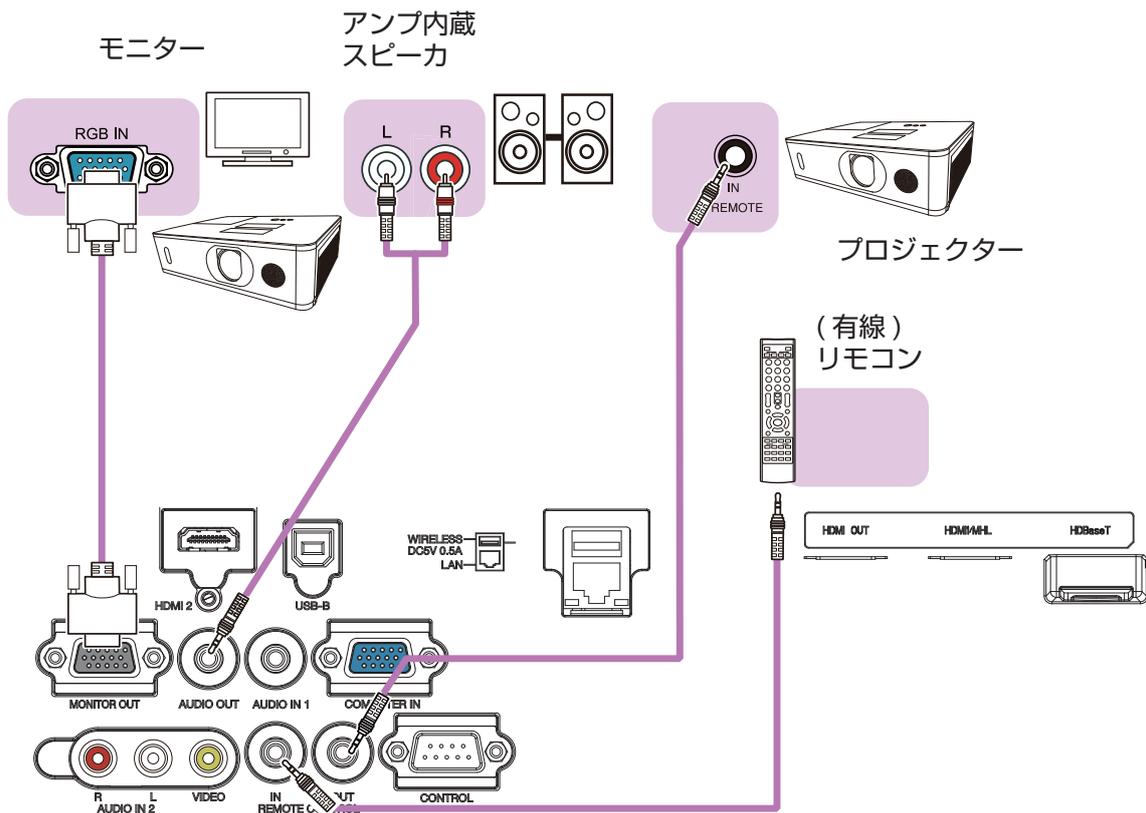
HDBaseT™ 接続について

- HDBaseTは、LANケーブルを通じて画像、音、イーサネットもしくはシリアルコントロール信号を送信できる技術です。
- LANもしくはHDBaseT端子は、切替えによりイーサネット信号の入力端子として使用できます。
- LANケーブルは、100mまでご使用できます。この長さを超えますと、画像および音の品質低下が起こり、LAN通信の誤動作も起こり得ます。
- HDBaseT接続には、認定されたケーブルが必要になります。



お知らせ

- ・本機の **HDMI** 端子は HDCP (High-bandwidth Digital Content protection) に対応しています。HDCP 対応の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。
- 本機は、以下の HDMI 信号に対応しています。
ビデオ信号：【技術情報編】を参照してください。
オーディオ信号：リニア PCM フォーマット
サンプリング周波数 48kHz/44.1kHz/32kHz
- コンピュータ信号：【技術情報編】を参照してください。
- 本機を **HDMI** 端子のある周辺機器に接続できます。ただし、一部の機器では正しく動作しない場合があります。
- 本機に **HDMI**® ケーブルは **HDMI**® ロゴ付きのものをご使用ください。
- 本機に 1080p@50/60 の信号を入力するには、HDMI カテゴリー 2 のケーブルをご使用ください。
- 本機を DVI 出力機器に接続するには、DVI-HDMI® 変換ケーブルを使用して、HDMI® に接続してください。
- 本機は、以下の MHL 信号に対応しています。ビデオ信号については【技術情報編】をご参照ください。
オーディオ信号：リニア PCM フォーマット
サンプリング周波数 48kHz/44.1kHz/32kHz
- MHL ケーブルは、MHL ロゴ付きのものをご使用ください。
- ・ HDMI ケーブルは、固定機構が無いため脱落する可能性があります。脱落防止のため、HDMI ケーブルホルダーおよび結束バンドを使用してケーブルを固定してください。
- ・本機は、HDMI 入出力端子を搭載しており、HDMI ケーブルを使って複数台のプロジェクター、またはモニターなどを接続することができます。
- ・ HDMI 1 / MHL、または HDBaseT を選択している時、投射している画面が出力されます。
- ・本機に入力される信号の解像度、及び出力される信号の解像度は、接続したプロジェクター、またはモニターなどの最大解像度に制限される場合があります。
- ・通常スタンバイ中の HDMI 出力動作はメニュー設定に従います。省電力またはネットワーク (WOL) の設定でスタンバイ時には出力しません。
- ・ HDMI 信号を出力する場合は、本機に映像信号を入力する前に、出力する側の機器の電源を入れて接続した状態にしてください。
- ・本機の HDMI 出力端子の場合、直列に接続できる台数は最大 7 台です。
- ・接続できる台数は HDCP のバージョン、ソース機器の HDCP リピート台数の制限、ケーブルの品位によって異なります。
- ・ 2 台目以降のプロジェクター、またはモニターの電源 OFF/ON、入力切替や HDMI ケーブルの抜き差しなどを行うと、本機で投射している映像が途切れる場合があります。
- ・ MHL 対応機器が **HDMI 1 / MHL** に接続されていて、かつ HDMI 出力端子に接続された機器の状態に変化があった場合、選択されている入力端子が HDMI 1 / MHL に切り替わる場合があります。
- ・本機の電源を ON、または OFF した場合、HDMI 出力が途切れる場合があります。

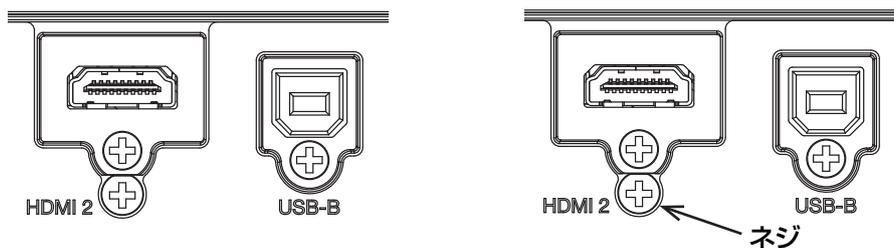


お知らせ

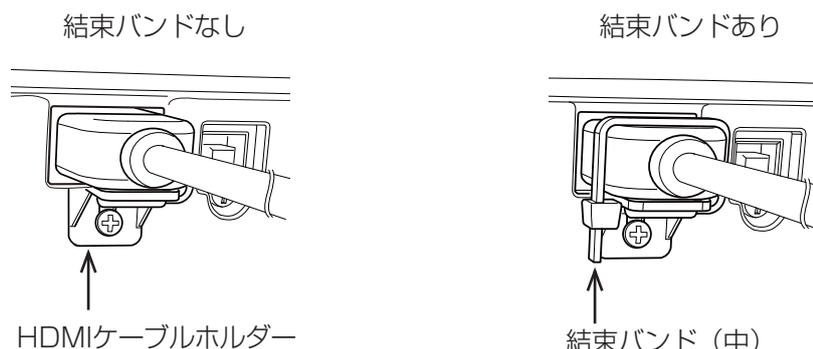
- 本機の **REMOTE CONTROL IN** 端子と、オプションリモコンの接続端子を ϕ 3.5 ステレオミニプラグ付ケーブルで接続すると、有線リモコンとしてもご使用いただけます。さらに、本機の **REMOTE CONTROL OUT** 端子と他のプロジェクターの **REMOTE CONTROL (IN)** 端子を接続すると、本機をリモコンリレーとして使用し、接続したプロジェクターを有線リモコンで一度に操作することができます。
- リモコン受光部で受信した信号や HDBaseT から入力されるリモコン信号も **REMOTE CONTROL OUT** から出力されます。
- 複数のリモコンで同時に操作した場合には正しく動作しない場合があります。

ケーブルを固定する

HDMI2 端子の下側にあるネジを外し、HDMI ケーブルホルダーの取り付けに使用してください。



HDMI ケーブルは、脱落防止のため、付属の HDMI ケーブルホルダーと結束バンドを使って、本体に固定することをおすすめします。市販の結束バンドをご利用になる場合は、2.0×4.0mm 以下のプラスチック製のものをご使用ください。



警告



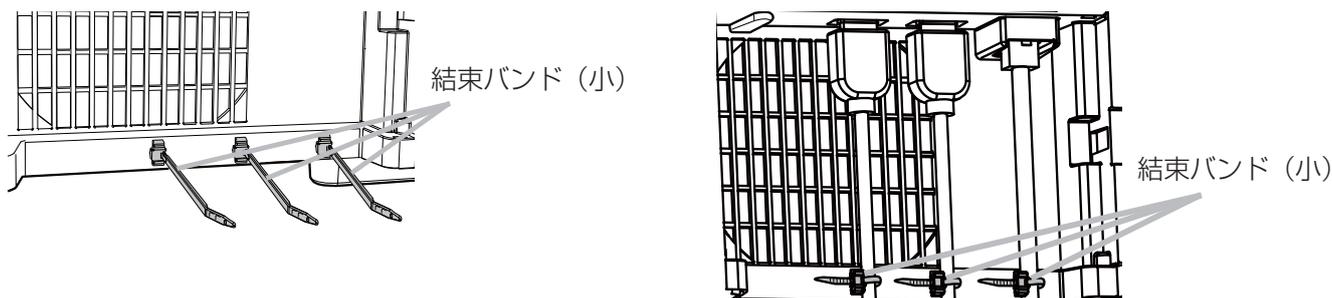
- HDMI ケーブル以外のケーブルを固定しないでください。

注意



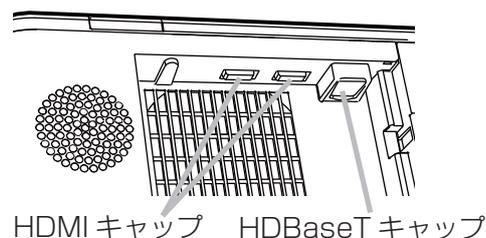
- 結束バンドは付属品またはサイズ 2.0 x 4.0mm 以下のプラスチック製結束バンドを使用してケーブルを固定してください。
 - ▶ 金属製の結束バンドは使用しないでください。
- ケーブルをきつく締めつけない
 ケーブルを結束バンドできつく締めすぎると、ケーブルや結束バンド用穴が破損する場合があります。

ケーブルを固定するには、同梱のケーブルを使用してください。



キャップの取り付け

ゴミや異物の混入防止のため、ケーブルを接続しない場合は、同梱のキャップを取り付けてください。



警告



●子どもやペットに注意する

小さな部品は、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに設置、保管してください。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

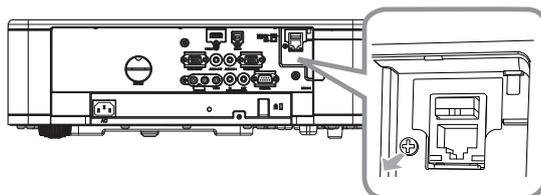
アダプターカバーを取り付ける

USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、盗難防止のため、アダプターカバーを必ず取り付けてください。

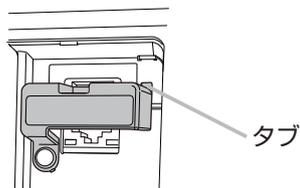
USB ワイヤレスアダプター：USB-WL-11N

使用温度範囲：0 ～ 40 °C（動作）

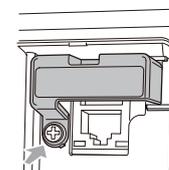
1. WIRELESS 端子の左下にあるネジを取り外してください。



2. 矢印の方向に、アダプターカバーの突起を WIRELESS 端子の右上にある穴へ差し込んでください。カバーと本体のねじ穴を合わせ、ネジを元の通りにしめなおしてください。



3. カバーと本体のねじ穴を合わせ、ネジを元の通りにしめなおしてください。



警告



●子どもやペットに注意する

電池やその他の小さな部品は、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに設置、保管してください。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。



高温注意

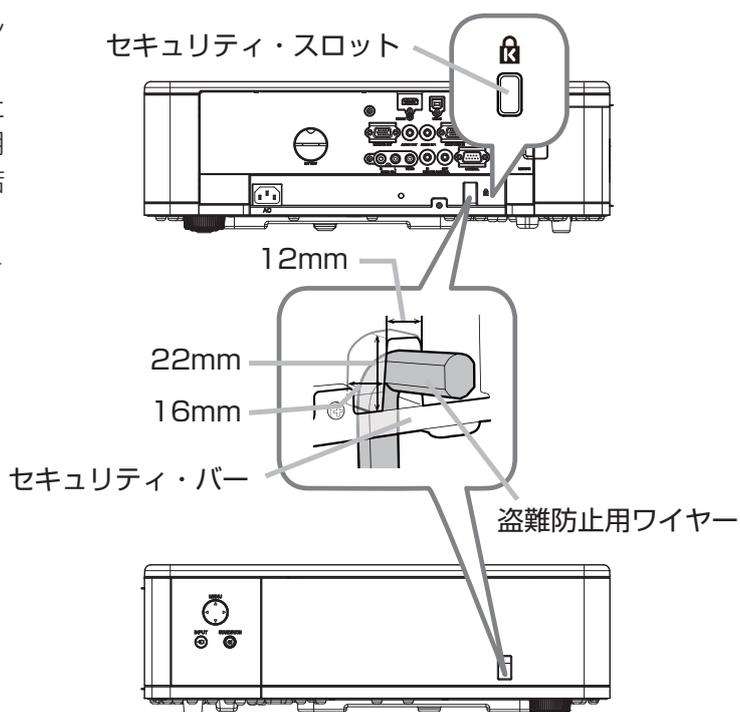
●高温に注意する

USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があります。触れるとやけどの原因となることがあります。USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、やけど防止のため、アダプターに触れる 10 分前に電源コードを抜いてください。

セキュリティ・スロット／バーを使う

本機のセキュリティバーに市販の盗難防止チェーンもしくは、ワイヤーを取り付けることができます。盗難防止のチェーンもしくはワイヤーを選択するためには、図を参照してください。転倒・落下防止用などの本機を支える目的で使用する場合は、販売店にご相談ください。

また、本機にはケンジントンロックのためのセキュリティスロットがついています。詳細はセキュリティツールのマニュアルを参照してください。



警告



セキュリティ・スロットを、転倒・落下防止用などの本機を支える目的で使用しないでください。

注意



高温注意

●盗難防止用ワイヤー／チェーンを排気口に近づけない

盗難防止用ワイヤー／チェーンを排気口の前や近くに置くと、高温になり、触れるとやけどの原因になる場合があります。

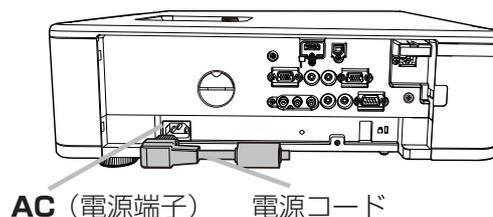
お知らせ

- 本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策の1つとしてご使用ください。

電源に接続する

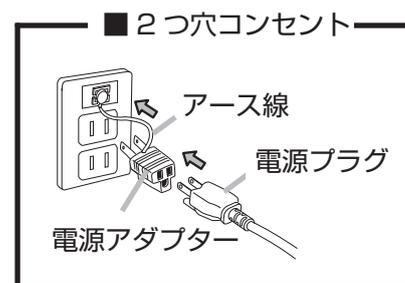
本機の AC（電源端子）と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプターで接続してください。

1. 電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。



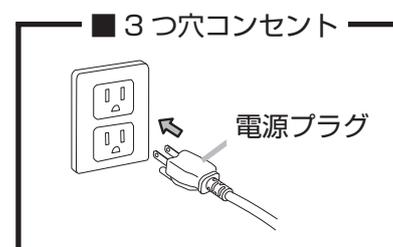
■ 2つ穴コンセントをご使用のとき

- 2-1. 電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。
- 2-2. 電源アダプターのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
- 2-3. 電源アダプターをコンセントに接続してから、電源プラグを電源アダプターに接続してください。



■ 3つ穴コンセントをご使用のとき

- 2-1. 電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。
- 2-2. 電源プラグをコンセントに接続してください。



電源が接続されると、本機はスタンバイ状態となり、POWER インジケータが橙色に点灯します。

警告



- 本機の電源プラグは、アース付き 3 芯プラグです
機器の安全確保のため、アースは確実にとってご使用ください。



- 電源コードは、束ねたまま使用しないでください
束ねると、電源コードの発熱による発煙、発火の危険が生じます。



- 電源プラグは、指定（本体に表示）の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する
電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。また、指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。
必ず、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源を接続したり外したりしない
ぬれた手で電源コードを取り扱わないでください。



- 電源コードは付属品のみを使用する
電源コードは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。



- 指定の電源電圧で使用する
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。
たこ足配線はしないでください。

⚠ 注意



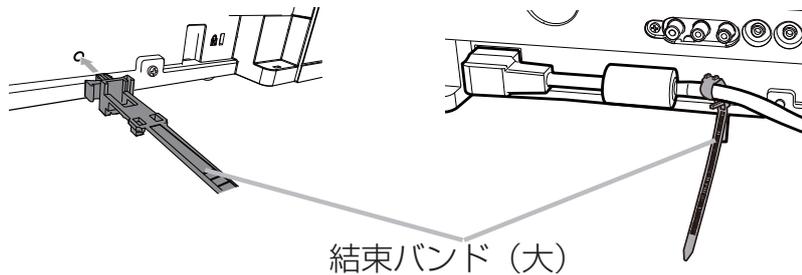
●機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください



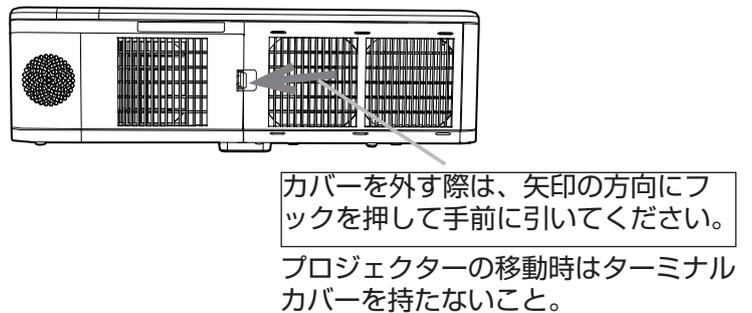
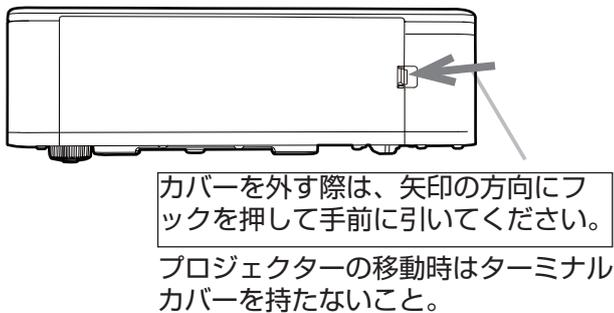
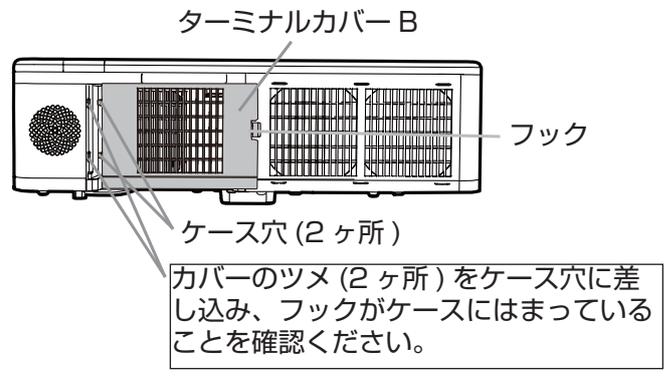
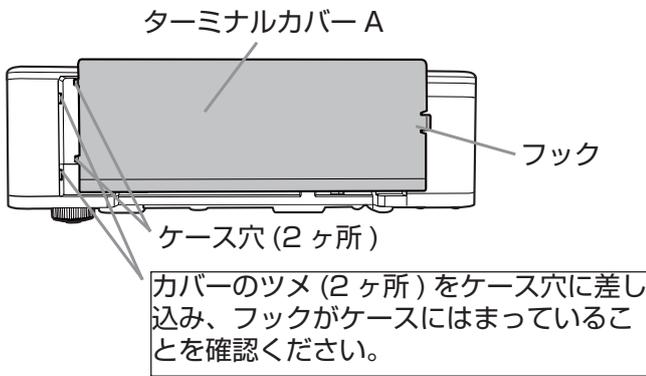
●電源コードのプラグをコンセントに接続するときは、奥までしっかり差し込んでください。電源コードのプラグとコンセントの接続がゆるいと、プラグ部分が発熱し、やけどや事故の原因となることがあります。

ケーブルを固定する

本機に接続した電源コードを結束バンドで本機に留めることができます。



ターミナルカバーを取り付ける



お知らせ

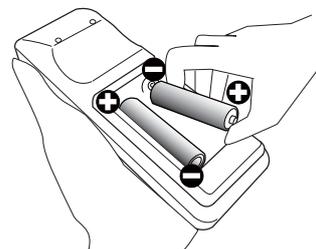
●使用するケーブルによってはターミナルカバーを取り付けることができません。

リモコンを準備する

付属のリモコンは単 3 型乾電池 2 本を使用します。ご使用前に電池をリモコンに入れてください。リモコンの誤動作やうまく動かない等の問題がある場合は、電池の交換を試してください。リモコンを長期間ご使用にならない場合は、電池を外した状態で保管してください。

電池は法令に沿って適正な非充電式のマンガンまたはアルカリの単 3 型乾電池をご使用ください。

1. 電池カバーを外してください。
2. リモコンの中に表示された極性表示 (⊕、⊖) を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3. 電池カバーを元のように閉じてください。



警告

●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、**すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。**漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、**すぐにきれいな水で洗い流してください。**目などに入った場合は、**すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。**

▶電池は、必ず指定のタイプ (☑ 上記) の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い (使用した) 電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。

▶電池ケースの極性表示 (⊕、⊖) に従って正しく入れてください。

▶子どもやペットが届かないところに保管してください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどをしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則 (条例など) に従ってください。



破裂注意

リモコン信号の周波数を切り替える

付属のリモコンは、2種類の信号周波数を切り替えてご使用になれます。リモコンが利きにくいときや正常に動作しないとき、周波数を切り替えると改善される場合があります。

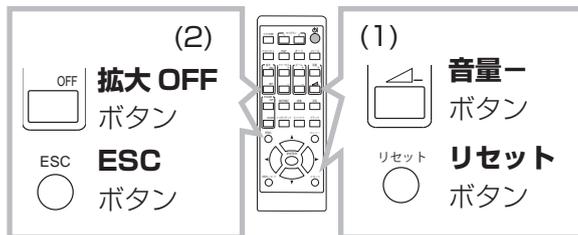
1. リモコンの周波数を変更するには、以下の2つのボタンを同時に約3秒間押し続けてください。

(1) モード1 (標準) :

音量-ボタンとリセットボタン

(2) モード2 (高) :

拡大OFFボタンとESCボタン

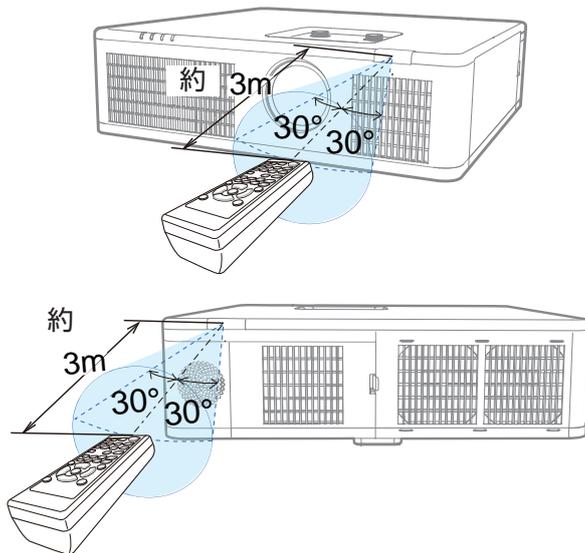


2. 本機の受光部を設定してください。

「その他」メニューの「特別な設定」-「リモコン周波数」(M2-31)で、リモコンの設定に合ったモードを有効にしてください。

リモコン信号について

付属のリモコンは、本機のリモコン受光部へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度60°(左右に各30°、距離約3mの範囲で有効です。)



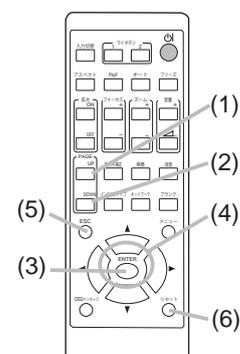
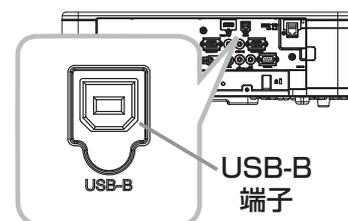
お知らせ

- リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。(反射面によっては反射できない場合もあります。)また、受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調節してみてください。
- リモコンは、赤外線(クラス1 LED)を使用し信号を本機に送っています。リモコン使用の際、壁や妨げとなるものが無いようご注意ください。
- 本機のリモコン受光部に直接強い光、またはインバーター蛍光からの至近距離の光を受けると、リモコンでの操作が正しく動作できない場合があります。その場合は、本機が影響を受けない位置に移動してください。

簡易マウス / キーボードとして使う

本機の **USB-B** 端子とコンピュータの USB(A) 端子を接続して、本機のリモコンを簡易的なマウスやキーボードとしてご使用になれます。

- (1) **PAGE UP ボタン**：キーボードの **PAGE UP** キーとして機能します。
- (2) **PAGE DOWN ボタン**：キーボードの **PAGE DOWN** キーとして機能します。
- (3) **ENTER ボタン**：マウスの**左ボタン**として機能します。
- (4) **カーソルボタン (▲ / ▼ / ◀ / ▶)**：キーボードの**カーソルボタン**として機能します。
- (5) **ESC ボタン**：キーボードの **ESC** キーとして機能します。
- (6) **リセットボタン**：マウスの**右ボタン**として機能します。



お知らせ

- 簡易マウス / キーボード機能の間違ったご使用は、接続機器の破損の原因となることがあります。本機の **USB-B** 端子は、コンピュータの USB(A) 端子以外には接続しないでください。本機と接続する前に、ご使用になるコンピュータの説明書をよくお読みください。

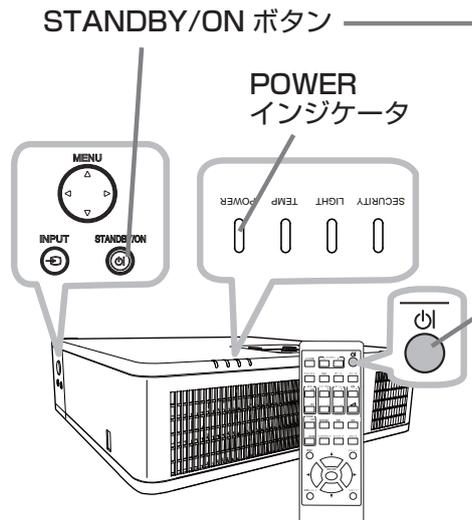
お知らせ

- 簡易マウス / キーボードの機能を使用するには以下をお読みください。
- ノートパソコンなどで、トラックボールのようなポインティングデバイスが内蔵されている場合、本機の簡易マウス / キーボード機能をご使用になるには、あらかじめコンピュータの BIOS メニューで内蔵のポインティングデバイスを無効、外部マウスを有効に設定してください。設定については、ご使用になるコンピュータの説明書に従ってください。
- 本機の簡易マウス / キーボード機能は、Windows Vista® 以上の OS を搭載し、汎用 USB マウス / キーボードを使用できるコンピュータでご使用いただけます。ただしコンピュータの設定やマウスドライバによってはご使用になれない場合もあります。
- 本機の簡易マウス / キーボード機能は、以下の場合には無効です。
 - ー本機がウォームアップ中（電源インジケータが緑色の点滅）。
 - ーブランク画面、テンプレート画面、またはマイ イメージが表示されている。
 - ーメニューやダイアログなどが表示されている。
 - ー音声または画面機能、音量調節、キーストン補正、画面調節機能を操作する際にカーソルボタンを使っているとき。

基本操作

電源を入れる

1. 電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
2. **POWER** インジケータが橙色に点灯していることを確認してください。それからレンズカバーを取り外してください。
3. リモコン、または操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンを押してください。
POWER インジケータが緑色に点滅し始め、本機は点灯動作（ウォームアップ）を開始します。点灯すると、初期画面が表示されます。**POWER** インジケータは点滅をやめ緑色に点灯します。



警告



●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

●高温に注意する

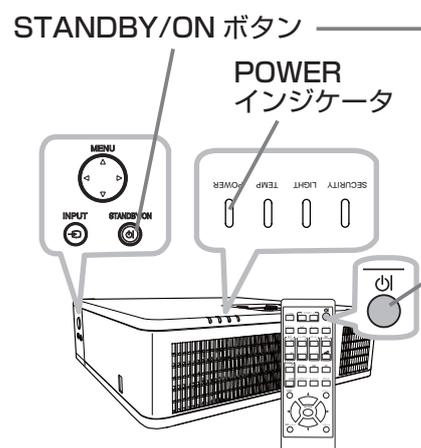
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズに触れたりしないでください。

お知らせ

- 本機の電源は他の機器より先に入れてください。
接続している他の機器（コンピュータやビデオプレーヤなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。
- 「その他」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「有効」に設定している場合、電源を入れる操作を行わなくても自動的に本機の電源が入ることがあります。（[P.2-26](#)）

電源を切る

1. リモコンまたは操作パネルの**STANDBY/ON** ボタンを押してください。
「電源を切りますか？」のメッセージが、約 5 秒表示されます。
2. メッセージが表示されている間に、もう一度 **STANDBY/ON** ボタンを押してください。
光源が消灯し、本機は冷却動作を開始して **POWER** インジケータが
橙色に点滅し始めます。冷却が終わると本機はスタンバイ状態となり、
POWER インジケータは点滅をやめて橙色に点灯します。
3. **POWER** インジケータが橙色に点灯したら、レンズ保護のためにレンズ
カバーを取り付けてください。



警告



高温注意

●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズに触れたりしないでください。



電源プラグを
コンセント
から抜く

●使用しないときは電源プラグを抜く

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

- 電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください
接続している他の機器（コンピュータやビデオプレーヤなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、
本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。
- 電源は正しい手順で切ってください
正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写
光源がつきにくくなる場合があります。非常時を除き、電源は決められた手順（**2-27** 上記）で切ってください。
▶ 停電によって、正しい手順をふまずに電源を切った（切れた）場合は、電源プラグを抜き、放置して十分
冷ましてください。

お知らせ

- 「その他」メニューの「オートパワーオフ」（**2-27**）を「有効」に設定していると、電源を切る操作を行
わなくても自動的に本機の電源が切れることがあります。

音量を調節する

音量を調節するには、音量 + / - ボタンを使います。

音量の調節中は画面上にダイアログが表示されます。なにも操作が行われないと、ダイアログが数秒後に自動的に消えます。



お知らせ

- 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」(2-20)で「 \times 」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、音量は調節できません。
- また、「設置」メニューのスタンバイ出力のAUDIO OUTに「 \times 」以外が選択され、「設置」メニューの「スタンバイモード」(2-17)が「通常」または、「高速起動」に設定されている場合は、スタンバイ時でも音量を調節できます。

音声を消す

消音ボタンを押すと、音声を消したことを示すダイアログが画面に表示されます。音声を復帰させるためには、消音、音量+または音量-ボタンを押してください。何も操作が行われないと、ダイアログが数秒後に自動的に消えます。

お知らせ

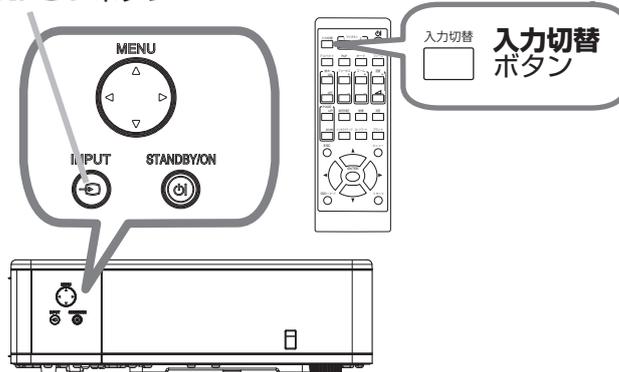
- 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」(2-20)で「 \times 」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、音声は常に消えています。
- 音声が消音になると、「スクリーン」メニューの「C.C.」-「ディスプレイ」に「オート」を選択している場合、C.C. を含む入力信号 (NTSC) を受信した時、自動的に C.C. 機能が有効となります。

入力信号を選ぶ

本機の操作パネルの INPUT ボタン、またはリモコンの入力切替ボタンを押します。入力一覧メニューが表示されますので、目的の入力を選択してください。

COMPUTER IN → HDMI 1 / MHL → HDMI 2
 ↑ ↓
 LAN ← VIDEO ← HDBaseT

INPUT ボタン



お知らせ

- 「その他」メニューの「チャンネルスキップ」より「スキップ」と設定した端子は選択できません。
- 「その他」メニューの「オートサーチ」(2-25)が「有効」に設定されている場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ

1. リモコンのアスペクトボタンを押します。
ボタンを押すごとに、本機はアスペクト（画面の縦横比）を切り替えます。

■ コンピュータ信号を表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → ズーム → リアル
↑

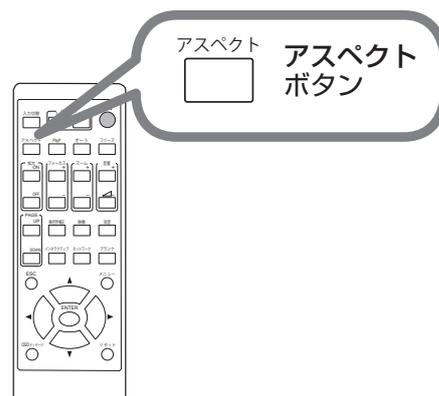
■ HDMI[®]、HDBaseT[™]、MHL 信号を表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → ズーム → リアル
↑

■ ビデオ信号を表示しているとき

4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → ズーム → リアル
↑

■ LAN 端子からの信号を表示しているとき、または信号の入力がないとき
16:10（固定）

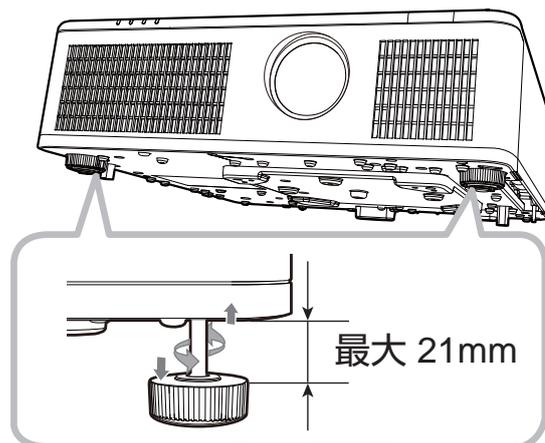


お知らせ

- 正常な信号の入力がないときは、アスペクトボタンは動作しません。
- 「ノーマル」を選択すると、受信中の映像信号そのままの縦横比で表示されます。

傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。アジャスタ脚は本機の底面前寄りの左右に1つずつあり、各々、ねじのように回すと長さを調節できます。



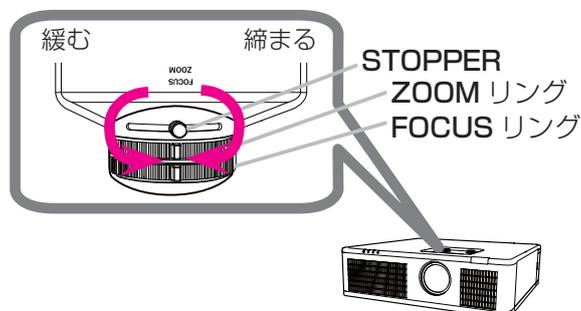
警告



- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
アジャスタ脚は伸ばしすぎると外れますので、21mm 以上には伸ばさないでください。本機が落ちたり倒れたりすると、けがや故障の原因となります。

ズーム（表示倍率）とフォーカス（焦点）を調節する

1. 投写画面を見ながら、ZOOM リングで画面サイズを調節してください。
2. 投写画面を見ながら、FOCUS リングで映像の焦点を合わせてください。
3. ZOOM リングが緩まないように STOPPER で固定します。



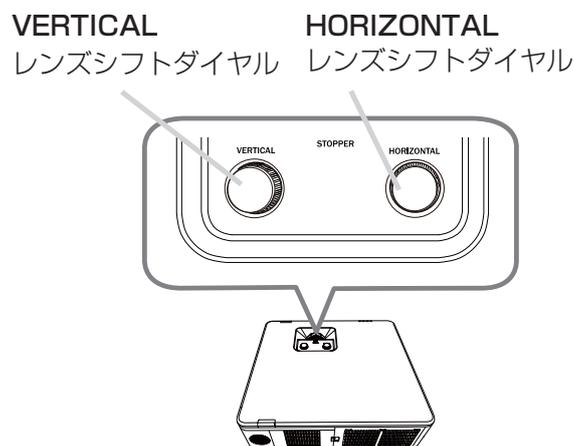
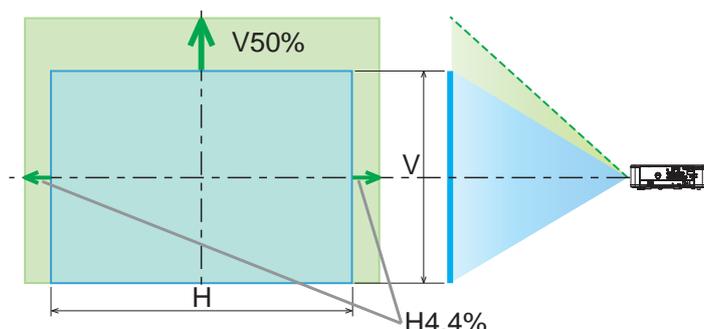
注意



- STOPPER で固定する
本機を上向き（30°～+150°）、または下向き（-30°～-150°）にしてお使いになる場合は、ZOOM リングの STOPPER をしめてください。ただし、強くしめすぎると故障の原因になりますのでご注意ください。また、STOPPER をしめる際に、投写画面が少し動く場合があります。

レンズシフトを調節する

1. 垂直のレンズ位置を調節するために **VERTICAL** レンズシフトダイヤルを回します。
時計 [右] 回りへ : 上向き (机上) / 下向き (天吊り)
反時計 [左] 回りへ : 下向き (机上) / 上向き (天吊り)
2. 水平のレンズ位置を調節するために **HORIZONTAL** レンズシフトダイヤルを回します。
時計 [右] 回りへ : 左向き (机上) / 右向き (天吊り)
反時計 [左] 回りへ : 右向き (机上) / 左向き (天吊り)



レンズシフト調節時の注意事項

- ① レンズシフト、ズーム、フォーカスの調節は、点灯した状態で 30 分以上経過したのちに実施してください。
- ② 点灯してから性能が安定するまでの 30 分程度は、投写位置やフォーカスが若干変動する場合があります。また、レンズシフト、ズーム、フォーカスの調節を行った時より温度・湿度等の周囲環境が変わった場合は、再調節が必要になる場合があります。
- ③ 配置後の変動を考慮して、使用するスクリーンのサイズに対して余裕をもった画面サイズに設定してください。
- ④ 上下方向のレンズシフトを調節する際は、投写画面を下から上に移動して調節してください。投写画面が下がる方向で調節を終了すると、投写画面が少し下がる場合があります。

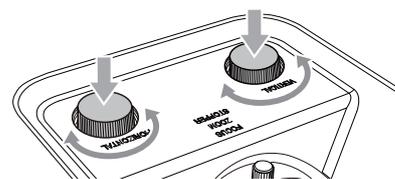
レンズシフトダイヤル操作時の注意事項

- ① レンズシフト範囲を超えると、レンズシフトダイヤルを回転させる力が大きくなるのが手に伝わる感覚でわかりますので、それ以上回転させないでください。万が一レンズシフトダイヤルを回し過ぎても、ダイヤル内に内蔵されたクラッチ機構により、空回りします。その時カチカチと音がしますが、故障ではありません。それ以上はレンズシフトしませんので、ダイヤルを反対方向に回して調節してください。
- ② シフト範囲を超えてダイヤルを回した後、反対方向へダイヤルを回してもカチカチ音がしてレンズシフトしない場合には、ダイヤルを下方向に押し付けながら回し続けてください。
- ③ シフト範囲を超えた領域でダイヤルを下方向に押し付けながら回転させないでください。クラッチ機構が働かないため、レンズシフトメカがセルフロック状態となる場合があります。その場合の対応策としては②と同様に、ダイヤルを下方向に押し付けながら回し続けてください。
- ④ レンズシフト調節の際、斜め方向へ最大にすると、投写画面の周辺が暗くなったり、影が出る場合があります。

⚠ 注意



レンズ調節を行う際には衝撃を受けると故障の原因となりますので、丁寧に操作してください。



画面の自動調整機能を使う

リモコンのオートボタンを押すと、以下の自動調整が実行されます。

■コンピュータ信号を表示しているとき

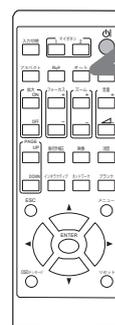
画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

■ビデオ信号を表示しているとき

入力信号に最も合うビデオフォーマットが自動的に選択されます。この機能は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(☞2-12)が「オート」に設定されているときのみ有効になります。画面の水平位置と垂直位置が自動的に初期設定に戻ります。

■コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置が自動的に初期設定に戻ります。クロック位相は自動的に設定されます。



オート
オートボタン

お知らせ

- 自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。
- ビデオ信号を表示しているときに画面の自動調整を実行すると、映像の外側に線などが表示される場合があります。
- コンピュータ信号を表示しているときに画面の自動調整を実行すると、コンピュータの機種によっては、画面の縁に黒い枠が表示されることがあります。
- 「その他」メニューの「特別な設定」－「オートアジャスト」(☞2-31)で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

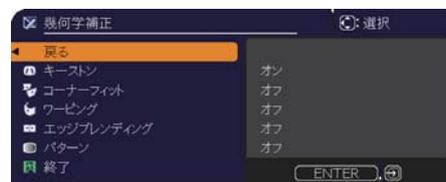
画面のひずみを補正する

「キーストン」、「コーナーフィット」、「ワーピング」のいずれかを選択して画面のひずみを補正することができます。

幾何学補正 ボタンを押してください。幾何学補正メニューが表示されますので、カーソルボタン▲/▼で選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。

- 「キーストン」：垂直、水平方向の調節ができます。
- 「コーナーフィット」：画面の四隅の位置、および四辺のたわみを各々独立して調節することができます。
- 「ワーピング」：様々な種類のスクリーンへの映像投写ができます。

* 3つのうち1つを選択すると、他は使えません。



お知らせ

- 何も操作をしないと、数秒後にメニューもしくはダイアログが自動的に消えます。
または、**幾何学補正** ボタンを再度押すか、「終了」にカーソルを合わせカーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、同様にメニューもしくはダイアログが閉じます。

- 「キーストン」：
「キーストン」でカーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、キーストンダイアログが表示されます。
 1. カーソルボタン▼/▲で「設定」を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押します。
 2. 垂直もしくは水平キーストン (▲/▼ / ◀/▶) をカーソルボタン▼/▲で選択します。
 3. カーソルボタン◀/▶でキーストンのゆがみを調節します。



お知らせ

- ズーム調節が TELE (小さく表示) 側に調節されていると、過補正となることがあります。できるだけズーム調節を WIDE (大きく表示) に調節してお使いください。
- 水平レンズシフトが中心に設定されていない場合は、この機能は正しく動作しません。
- 幾何学補正メニューに戻るには、カーソルボタン▲/▼で「戻る」を選択し、カーソルボタン◀または **ENTER** ボタンを押してください。

画面のひずみを補正する (つづき)

■ 「コーナーフィット」:

「コーナーフィット」でカーソルボタン▶またはENTERボタンを押すと、コーナーフィットダイアログが表示されます。本機は、テストパターンを備えております。カーソルボタン▼/▲でパターンを選択し、カーソルボタン◀/▶で調節します。

1. カーソルボタン▼/▲で「設定」を選択し、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押します。
2. カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、調節する隅または辺を選択し、ENTERボタン(または⏏ボタン)を押してください。



3. 以下の選択箇所を調節します。

- 隅はカーソルボタン▲/▼/◀/▶で位置が移動します。
- 上下辺はカーソルボタン▲/▼でひずみを調節します。
- 左右辺はカーソルボタン◀/▶でひずみを調節します。
- 再度調節する場合は、ENTERボタン(または⏏ボタン)を押し、手順2から操作を参照してください。

4. 本機は、コーナーフィットの調節設定を3つまでメモリに保存することができます。

■ ロード-1~3:

メモリに保存されている調節設定を読み出すには、カーソルボタン▲/▼で、ロード-1~3のどれかにカーソルを移動し、カーソルボタン▶、ENTERボタン(または⏏ボタン)を押してください。設定を読み出すと、「現在の設定」は読み出された設定に上書きされます。現在の設定を残したい場合は、保存をしてから他の設定を読み出してください。

■ セーブ-1~3:

コーナーフィットの調節設定を保存するには、カーソルボタン▲/▼でセーブ-1~3のなかから1つ選択し、カーソルボタン▶、ENTERボタン(または⏏ボタン)を押します。保存先に設定が保存されている場合は、上書きされます。

お知らせ

- 設定を保存していないメモリのロード番号は、選択できません。
- 設定をメモリから読み出す時に画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

■ 「ワーピング」:

ワーピング機能を使うことで、様々な種類のスクリーンへの映像投写が可能になります。

専用のPCツール"Projector Warping Tool"によって操作します。

この機能を使用するには、PCと本機をLANケーブルで接続する必要があります。

PCツールの入手については、販売店にご相談ください。

操作方法は、アプリケーションマニュアルを参照ください。

エッジブレンディング機能を使用する

1. モード (マニュアル)

オフ：ブレンディング機能を無効にします。

マニュアル：ブレンディング領域またはブレンディングレベルをメニューで調節できます。

* ブレンディング機能が OFF 以外に設定されている時は、イメージオプティマイザは選択できません。

2. ブレンディングレベル

カーソルボタン▲/▼で、「ブレンディングレベル」を選択してください。

カーソルボタン◀/▶で「1 - 25」から選択できます。

設定に応じてブレンディング領域の明るさを調節します。

3. ブレンディング領域

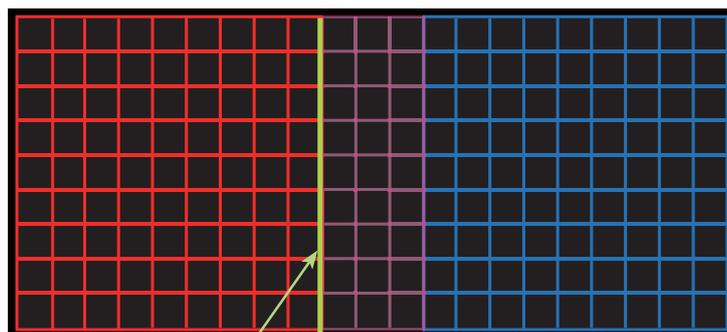
3.1 ブレンディング領域の指定

カーソルボタン▲/▼/◀/▶で4辺の一つを選択し、ENTER ボタンまたは  ボタンを押してください。

左右の辺の場合はカーソルボタン◀/▶、上下の辺はカーソルボタン▲/▼でブレンディング領域を指定することができます。2台のプロジェクトにそれぞれ、ブレンディング領域を指定してください。調節の際に表示されるガイドに沿って設定してください。

* ブレンディング領域には解像度の20%を推奨します。

H : 384, V : 240



ガイドライン

4. 切り出し

ブレンディングしているプロジェクトそれぞれに同じ映像を入力している場合、入力映像の一部をそれぞれのプロジェクトが切り抜いて表示し、1つの映像を大画面表示にすることができます。以下のパターンをサポートします。

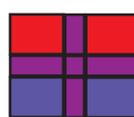
2 x 1



1 x 2



2 x 2



4.1 切り出し領域メニューを表示する

カーソルボタン▲/▼で、「切り出し領域」を選択し、カーソルボタン▶、ENTER ボタンまたは  ボタンを押してください。

4.2 切り出し領域を設定する

カーソルボタン▲/▼で「モード」を選択し、カーソルボタン◀/▶で「オン」にしてください。

ブレンディング領域の設定に応じて、自動的に入力映像を切り出します。



(次ページにつづく)

エッジブレンディング機能を使用する（つづき）

4.3 切り出し領域を調節する

入力映像の一部を切り出したい場合には、切り出し領域を調節します。

カーソルボタン▲/▼で、「設定」を選択し、カーソルボタン▶、ENTER ボタンまたは  ボタンを押してください。

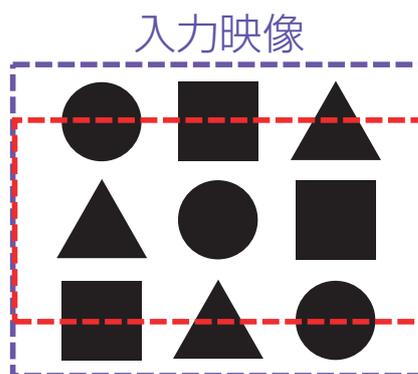
*この時「モード」が一時的に「オフ」になり、切り出し領域のガイドが表示されます。

カーソルボタン▲/▼で「LT」/「WH」を選択し、ENTER ボタンまたは  ボタンを押してください。

カーソルボタン▲/▼/◀/▶でガイド表示を動かし、切り出したい画面の領域を選択してください。

ENTER ボタンまたは  ボタンを押し、カーソルボタン◀を押して「設定」を選択すると、「モード」が自動的に「オン」になります。

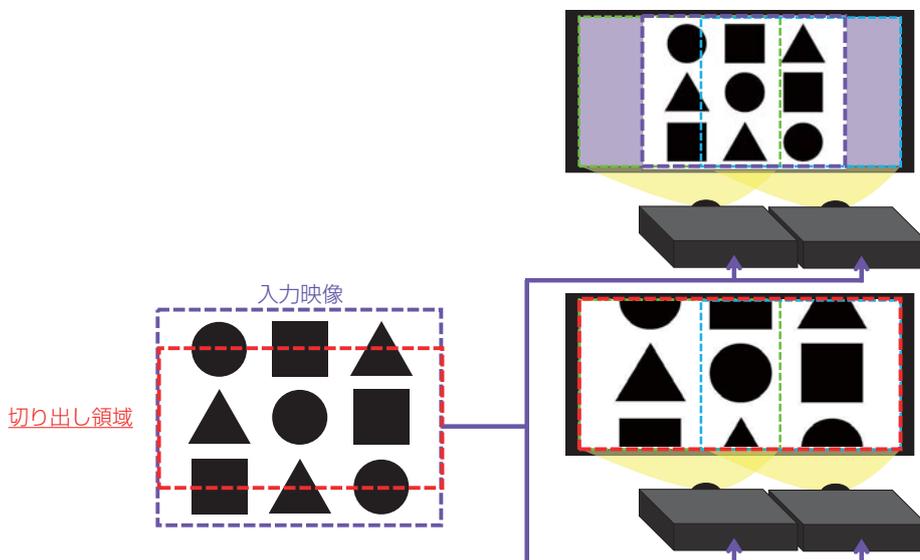
切り出し領域



4.4 もう1台のプロジェクターの切り出し領域を調節する。

1台目のプロジェクターの切り出し領域と同じ設定値を、もう1台のプロジェクターに設定してください。ブレンディング領域の設定に応じて、自動的に入力映像を切り出します。

*設定の最中、入力映像が見えない状態にしておきたい場合、ブランクを「オン」にしてください。



5. 調光レベル

ブレンディングしているそれぞれのプロジェクターの明るさを合わせるために調光します。

カーソルボタン◀/▶で調光レベルを調節します。

「光出力」が「コンスタント」の時は、調光レベルを調節できません。その他の場合においても調節できない場合があります。

6. ホワイトバランス

画面全体のホワイトバランスを調節します。

6.1 オフセット

全階調の色温度を変更します。

6.2 ゲイン

主に明るい階調の色温度を変更します。

7. 黒レベル

ブレンディングしているそれぞれのプロジェクターの黒レベルを調節します。Wを選択している時はR/G/Bの調節値を同時に調節します。

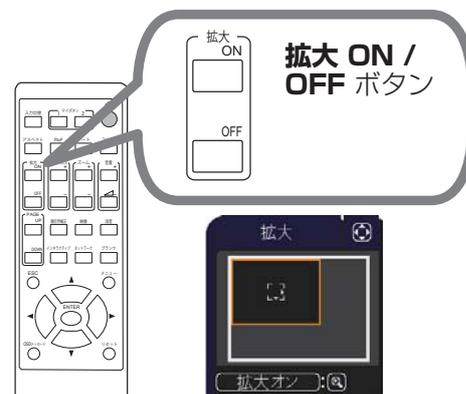
R/G/Bそれぞれを選択している時はR/G/Bの調節値を個別に調節します。

お知らせ

- 設置後、時間の経過により画面がズれることがあります。その際は再度画面調節を行ない、ズレを修正してください。

画面を拡大する

1. リモコンの**拡大 ON** ボタンを押すと、画面が拡大表示され、「拡大」ダイアログが表示されます。電源を入れて最初に**拡大オン**ボタンを押した場合、画面は 1.5 倍に拡大表示されます。ダイアログ内に表示される三角マークの各方向に表示されます。



2. ダイアログが表示されている間、**拡大 ON** ボタンを押すたびに、以下のように画面の拡大倍率が切り替わります。

■コンピュータ信号、HDMI®(RGB) 信号、HDBaseT™ (RGB) 信号、および LAN 端子からの映像信号を表示しているとき

1.5 倍 → 2 倍 → 3 倍 → 4 倍 → 等倍



■ビデオ信号、HDBaseT™ 信号、MHL 信号、および HDMI® 信号を表示しているとき

1.5 倍 → 2 倍 → 等倍



3. また、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で拡大位置を移動することができます。ダイアログ内に表示される三角マークの方向に、拡大画面を移動することができます。

4. 画面の拡大を終了するには、リモコンの**拡大 OFF** ボタンを押してください。

お知らせ

- 「拡大」ダイアログは、数秒間何も操作をしないと消えます。拡大画面を操作するには、もう一度**拡大 ON** ボタンを押してください。
- 入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作（画面の自動調整やアスペクトの切替えなど）を実行したときには、画面の拡大は終了します。
- 画面を拡大すると、画面のひずみ補正の状態が正しく表示されないことがあります。拡大を解除すると、元の状態に戻ります。
- 画面を拡大すると、水平の縞模様が現れることがあります。
- 拡大機能は以下の場合にご利用になれません。
 - 対応していない信号が入力されているとき。
 - 入力信号が無いとき。

映像を静止させる

リモコンの**フリーズ**ボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。

「設置」メニューの「OSD メッセージ」(P.2-19)を「限定」または、「禁止」に設定していると、「静止」ダイアログは表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度**フリーズ**ボタンを押してください。

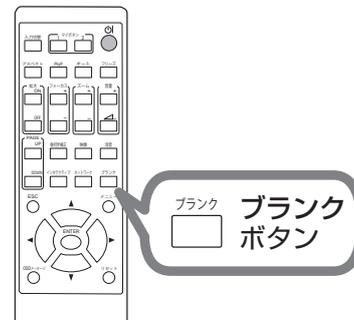


お知らせ

- 操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。
- 映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れてしまわないようご注意ください。
- 静止している映像が劣化して見えることがありますが、故障ではありません。

映像を一時的に消す（ブランク）

リモコンの**ブランクボタン** を押しと、映像が消えてブランク画面が表示されます。ブランク画面は「スクリーン」メニューの「ブランク」（2-21）で設定できます。もう一度**ブランクボタン** を押しともとの映像表示に戻ります。



お知らせ

- 操作パネルのボタンを押したときにもブランク画面の表示を終了します。また、リモコンの他のボタンを押した時にもブランク画面の表示を終了することがあります。

注意

- 本機の点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する



本機の点灯中に映像を消したい場合には、上記の「ブランク」機能をご使用ください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、レンズを損傷するおそれがありますので、おやめください。

お知らせ

- ブランク画面を表示しても音声は消えません。あらかじめ音量を調節するか、音声を消してからブランク画面の表示を実行してください。

点検とお手入れ

光源を交換する場合は販売店に問い合わせてください。

吸気口を掃除する

本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお勧めします。

吸気口の掃除や吸気口のチェックをお願いするメッセージが表示された場合やTEMPインジケータが赤く点灯した場合は、すぐに吸気口の掃除を行ってください。

お手入れ手順

- 1.本機の電源を切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
- 2.吸気口とその周辺を、掃除機で掃除してください。

警告



●吸気口を掃除する前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

吸気口を掃除する前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

お知らせ

- 「吸気口をチェックしてください」メッセージが表示されたときは、一旦本機の電源を切って、内部の温度を冷ましてください。

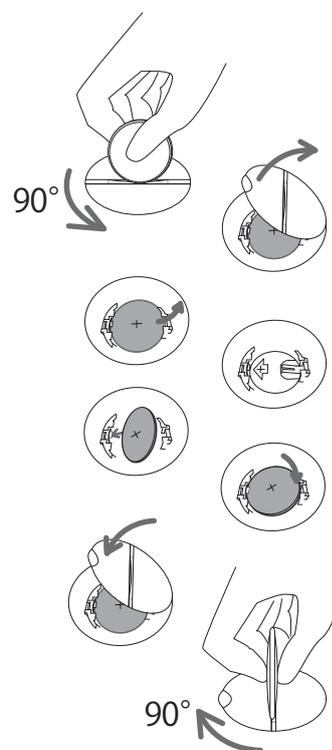
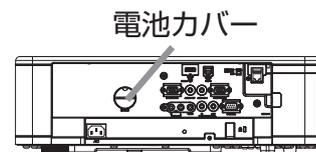
内蔵時計用電池の取付

スケジュール機能の利用には、電池の取付が必要な場合があります。(☞3-68)
工場出荷時は電池が入っていません。下記の着脱手順に従い電池を脱着してください。
電池は必ず下記のものをご使用ください。

型名： MAXELL、CR2032 または CR2032H

作業手順

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 電池カバーを外します。図を参考に、電池カバーの溝にコインなどを合わせて反時計回りに回して、電池カバーが浮いてきたらつまみあげて外してください。
3. 電池ケースから古い電池を取り外します。図に従って電池を取り出してください。金属製の道具は使用しないでください。
4. 新しい電池を入れます。電池ケースの中の極性表示⊕に従って、電池の-側を下(中)に、+側を上(カバー側)にして入れてください。電池を軽く押し、電池ケースに固定してください。
5. 電池カバーを閉じます。電池カバーの溝にコインなどを合わせて時計回りに回して、元のように固定してください。



警告

●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。

漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶電池は、必ず指定のタイプ(☞上記)の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。

▶子どもやペットが届かないところに保管してください。

▶電池ケースの極性表示(⊕、⊖)に従って正しく入れてください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従ってください。



破裂注意

その他のお手入れ

内部の点検とお手入れ

内部にホコリがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。

内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

レンズが傷ついたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。
 - ・レンズのお手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃に使用するもの）で行ってください。
 - ・汚れがひどいときは、水を少し含ませて拭き取ってください。
 - ・ベンジンやシンナーなどの溶剤、研磨剤、洗剤や薬品などは絶対に使用しないでください。
 - ・その他の部分はガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布を良く絞って、軽く拭いてください。

本体とリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

警告



●お手入れの前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

お手入れの前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。使用中や使用後しばらくは、レンズやその周辺は高温になります。高温状態での取扱いはやけどの原因となります。また、電源プラグを接続したままお手入れすると、火災や感電の原因となります。



●本機の点灯中はレンズをのぞかない

本機の点灯中はレンズから強い光が出ます。視力障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



●本機内部に水や洗剤を入れない

万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。
▶スプレー（エアゾール製品）を本機に向けて使ったり、本機の周辺で使用しないでください。

注意



●レンズのクリーニングに掃除機を使わない

掃除機を使うと故障の原因となる場合がありますので、使用しないでください。



●本機（本体、レンズ）およびリモコンを傷つけない

硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。



●内部の点検とお手入れは、販売店に依頼する

お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

お守りください

- 本書に指定されているもの以外の洗剤、薬品は使用しないでください。表面が変質することがあります。また、水や水で薄めた中性洗剤も、本体とリモコンのお手入れ以外には使用しないでください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤は使用しないでください。化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

仕様

一般仕様

項目	仕様
投写方式	DLP [®] プロジェクター
DMD	2,304,000 画素 (1920 × 1200) アスペクト比 16 : 10
光源	LED
スピーカ	16W x1
電源／消費電力	AC100V、50/60Hz、5.6A / 560W
使用環境温度	以下の表を参照してください。
標準外形寸法	471 (W) × 148 (H) × 455 (D) mm 471 (W) × 132 (H) × 452 (D) mm (突起部含まず) 次ページをご参照ください。
質量	約 14.5Kg
端子	COMPUTER IN Dサブ 15 ピンミニ× 1 HDMI 1 / MHL HDMI / MHL × 1 HDMI 2 HDMI × 1 HDMI OUT HDMI × 1 HDBaseT RJ45 × 1 MONITOR OUT Dサブ 15 ピンミニ× 1 VIDEO RCA × 1 AUDIO IN1 3.5mm ステレオミニ× 1 AUDIO IN2 (L, R) RCA × 2 AUDIO OUT 3.5mm ステレオミニ× 1 WIRELESS WIRELESS コネクタ× 1 USB-B USB type B コネクタ× 1 CONTROL Dサブ 9 ピン× 1 LAN RJ45 × 1 REMOTE CONTROL IN 3.5mm ステレオミニ× 1 REMOTE CONTROL OUT 3.5mm ステレオミニ× 1
別売品	<ul style="list-style-type: none"> ・天井用取付け金具：HAS-9110 (天吊り用ブラケット) <li style="padding-left: 20px;">HAS-104S (低天井用薄型金具) <li style="padding-left: 20px;">HAS-204L (低天井用金具) <li style="padding-left: 20px;">HAS-304H (高天井用パイプ金具) ・USB ワイヤレスアダプター：USB-WL-11N ・有線リモコン (ワイヤード接続対応リモコン)：RC-R104 ※その他については販売店にご相談ください。

高度	使用環境温度	光出力低下することがある温度
0m 以上 1,600m 未満	0℃ ~ 40℃	33℃ 以上
1,600m 以上 3,048m 未満	0℃ ~ 35℃	30℃ 以上

外形寸法

